

平林金属リサイクルファーム御津(岡山市北区御津高津)

# 家電年間60万台を処理

ずらりと並ぶ廃棄された冷蔵庫。従業員がゴムパッキンやコンプレッサーなどを取り外し、シュレッダーや選別機からなる自動ラインに投入する。チップ状に砕かれた鉄や銅、プラスチックなどが磁力や風力などでより分けられ、別々の排出口からシャワーのように流れ出てくる。

2001年に整備されたリサイクルファーム御津。家電4品目(冷蔵庫、洗濯機、エアコン、テレビ)の再資源化を家電メーカーから受託している工場で、年間計約60万台を処理しているという。

見学は約1時間。従業員が廃家電の正しい処分法や再生原料となってメー

カーに送られ、新たな商品の製造に活用されることなどを説明する。

その後、工場2階の専用通路からリサイクル作業を見る。電動ドライバーでテレビを分解して基板や液晶パネルを取り出したり、エアコンに特殊なホースをつなぎ、冷媒のフロンを抜き取ったり…。従業員の手際よい動きが見どころだ。

基板から金や銀、パラジウムといった希少金属も回収できる廃家電は「都市鉱山」とも呼ばれる。三木達哉所長は「家電は資源の固まりであることを知り、リサイクルの意義や重要性を実感してもらえれば」と力を込める。(伊東圭一)



冷蔵庫のリサイクルライン。手作業でゴムパッキンなどを取り外した後、自動ラインで破碎、資源を選別している

## メモ

平林金属では全9工場で見学を受け入れている。無料。リサイクルステージ玉島(倉敷市玉島乙島)では自動車スクラップの破碎や選別が見学できるなど、工場ごとに内容や時間が異なる。同社ホームページの専用フォームや電話で申し込む。問い合わせは各工場。